広報向日町

発行所
京都府乙訓郡向日町大字向日小字南山三番
電話向日町18・218
編集
総務課広報係
向日町役場

九月定例議会終る

議会常任委員会新委員任選

町定例議会は九月二十八日午前九時から開催され議案十一件提出あり審議の結果それぞれ可決承認があつて同日午後五時閉会した。

今回の定例議会では、去る第二十四国会において成立をみた「地方自治法の一部を改正する法律」に基く議会常任委員会の条例や定例会の条例等の改正や地方教育行政の組織及び運営に関する法律制定に伴い地方教育委員会委員任命の同意などで、その議決承認のあつた議案等はおよそ次の通りである。

◆向日町議会委員会条例
地方自治法が一部改正され地方議会常任委員会が四以内とされたので従来の八つの委員会が組少され条例の全面改正があつてそれぞれ次のように委員が改選された。

◆向日町議会定例会条例
今度の地方自治法改正に伴い従来の定例議会の回数年四回であつたものが年四回以内となつたのでこれを条例で二月、七月、九月、十二月と定められた。

◆向日町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例
地方自治法改正に伴い議会議員の報酬費用弁償及び期末手当等は条例で定めることとなつたものである。

◆向日町特別職員の給与に関する条例の一部改正
議会議員の報酬費用弁償等に関する条例制定に伴う一部改正である。

◆向日町教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて
地方教育行政の組織及び運営に関する法律が十月一日から施行され従来の教育委員の公選制が任命制にかわり町長が委員任命に当り議会の同意を要するので同意を求めたところ満場一致次の五委員が同意承認になつた。
中山新一郎氏、辻山一雄氏、小寺治夫氏、鎌田与一郎氏、岡崎三保子氏

◆向日町教育委員会転員定数条例
従来教育委員会は乙訓郡共同で事務をとつておつたものが向日町単独で設置することになり、委員数を五人から三人に減員することによつて条例が改正された。

◆向日町教育委員会委員の報酬及び費用弁償条例
地方教育行政の組織及び運営に関する法律の改正により町長が議会の同意を得て任命することとなつた教育委員会委員の報酬及び費用弁償等を定めたものである。

◆向日町教育委員会教育長の給与及び勤務時間等に関する条例
従来那町村共同の教育長であつたものが改正法により単独の教育長をおかなければならなくなつたのでその給与等の条例が定められた。

◆昭和卅一年度向日町特別会計第二上水道事業第二回歳入歳出追加更正予算
本町本予算追加更正は土木費土地区画整理調査費の前年度よりの繰越し社会労働関係費の委員入費による組替、住宅建築助成費に関する費用の事業繰越等でその追加額二八、〇五三、二八〇円である。

◆昭和卅一年度向日町第二回歳入歳出追加更正予算
第二上水道事業においては本年度水道布設計画に基く事業費として一四六万円を追加更正計上された。

◆向日町議会会議規則
地方自治法一部改正に伴う修正動議及びちよう副動議等その他議会運営上改正すべきものが多々あつたので全面改正を必要とされたものである。

◆向日町教育委員会公告式規則
従令改正に伴い従来の教育委員会の公告すべき文書公告についての規則を全面改正したものである。

◆向日町教育委員会会議規則
今回の改正によつて従来の会議規則を全面改正したものである。

◆向日町教育委員会会議傍聴人規則
今回の法令改正により委員会会議規則の改正に伴い従来の規則を全面改正し定めたものである。

◆教育長に対する事務委任規則
教育事務の一部を教育長に委任することの規則を全面改正したのである。

◆向日町教育委員会事務局組織規程の一部を改正する規程
従来乙訓郡共同事務局であつたものが単独事務局になつたため一部改正したものである。

◆向日町教育委員会委員長及び教育長
任命された委員長名は次の通り。

財務委員会（五名）
委員長　山口重次郎
副委員長　渡辺利一郎
委員　奥山伊太郎
〃　栗田熙平
〃　清水仙太郎

文教消防委員会（五名）
委員長　岡田孝太郎
副委員長　野口宗一
委員　真鍋長谷川卯助
〃　長谷川禧
〃　五十棲米蔵

社会厚生委員（五名）
委員長　布施勘三郎
副委員長　杉原鼎太郎
委員　辻裏一
〃　清一
〃　木村繁雄

事業委員会（五名）
委員長　黒田治郎吉
副委員長　清水庄二郎
委員　島田直一
〃　岡崎利一
〃　住宅造成促進委員会（特別委員会）
委員長　岡田孝太郎
副委員長　渡辺利一郎
委員　清水仙太郎
〃　清水庄二郎
〃　辻裏一
〃　岡崎利一
〃　奥山伊太郎
〃　布施勘三郎
〃　五十棲米蔵
〃　木村繁雄

新教育委員会委員長教育長きまる

十月一日改正後初の向日町教育委員会開く

地方教育行政の組織及び運営に関する法律の施行にともない去る十月一日新委員による向日町教育委員会は全員出席のもとに開かれ委員長、教育長は次のように決定いよいよその職責は重められた。

最初に委員長の選挙があつて序で職務代理者の選出、教育長の選任があり次のように職事の審議に入り可決承認があつた。

◆向日町教育委員会公告式規則
従令改正に伴い従来の教育委員会の公告すべき文書公告についての規則を全面改正したものである。

◆向日町教育委員会会議規則
今回の改正によつて従来の会議規則を全面改正したものである。

◆向日町教育委員会委員長及び教育長
任命された委員長名は次の通り。

財務委員会（五名）
委員長　山口重次郎
副委員長　渡辺利一郎
委員　奥山伊太郎
〃　栗田熙平
〃　清水仙太郎

文教消防委員会（五名）
委員長　岡田孝太郎
副委員長　野口宗一
委員　真鍋長谷川卯助
〃　長谷川禧
〃　五十棲米蔵

社会厚生委員（五名）
委員長　布施勘三郎
副委員長　杉原鼎太郎
委員　辻裏一
〃　清一
〃　木村繁雄

事業委員会（五名）
委員長　黒田治郎吉
副委員長　清水庄二郎
委員　島田直一
〃　岡崎利一
〃　住宅造成促進委員会（特別委員会）
委員長　岡田孝太郎
副委員長　渡辺利一郎
委員　清水仙太郎
〃　清水庄二郎
〃　辻裏一
〃　岡崎利一
〃　奥山伊太郎
〃　布施勘三郎
〃　五十棲米蔵
〃　木村繁雄

給水戸数一千戸突破！
着々延びる水道管布設

向日町の発展と共に、上水道事業も年々充実いたし益々其の効果を発揮し、現在当町における給水利用戸数も約一千戸を突破致し、給水日々其の数は増加の一途にあります。

当初計画致し並した水道事業は昭和三十五年度に於て常盛致しましたが、其の他の地区よりも水道布設の要望が激増し、町に於ても必要な箇所に財源のゆるす範囲に於て次期工事を実施すべく計画致し、町当局方の御要望に添えるべく鋭意努力致し、限られた財源を有効に活用し、一人でも多く利用願える様、経費の節減を計る為め、本年度工事におきましては現在、埋設工事を地元の組員組により御協力願ひ実施する事に致し、尚い地元関係各位の御理解、御努力により、本年度第一次工事として、寺戸地区に口径一〇〇粍、延長一二〇〇米、口径七五粍、延長約六一〇米の水道布設工事を施行致しました。同地区には既に給水開始し御利用して戴いており、今後申込が殺到し、低では誠しい思いを上げています。引続き十月中旬より寺戸地区に、又他各地区の御理解と御協力をお願い致します。

尚一次工事実施の竜昌地区各位の御協力に対しましては衷心より御礼申上げます。

今後共水道布設の為御協力下さいます様御願ねて御願い致します。

今後引続き実施されます水道工事中仕事の関係上場所により工事区域内の諸車通行制限を実施致しますから御了承下さい。工事中は道路が狭い為通行にも支障を来す事が生じ特に夜間の往来には細注意下さいます様御願ひ致します。

尚工事が完成致しますと皆様方よりの給水希望申込により家内への水道工事をさせて戴きますから一日でも多く御利用下さいます様町当局では御すすめしております。工事施工に際しましては種々御協力を賜り、より一層住みよい町となる事と存じます。また上福野地区にも約六〇〇米の配水管布設も並行されておりますから、本年度内には水道水をお使い頂ける事と存じます。

基本選挙人名簿に登載もれや誤りは？
縦覧期間は

自十一月五日午前八時三十分
至十一月十九日午後五時

九月十五日現在で本町に引続き住れ三ケ月になつた方は、先日調査調を縦覧出来たのでありますがなお名前や生年月日に誤りがあつたり、自分の名前が（この名簿に登載されていないと、この選挙人名簿で選挙する場合折角選挙権がありながら、投票することができないことがありますので、必ずこの名簿に登載されていることが絶対必要であります。

このため縦覧期間を設けてありますから、名簿を投票で調べてもし万一名簿に誤載や脱漏がありましたら文書で選挙管理委員会宛異議の申立をして下さい、理由が立てば修正することになつています。

なおこの選挙人名簿は十二月二十日をもつて確定しますので、十二月二十日までに年令満二十才となられる方も登載されることになり、又九月十五日現在同町に三ケ月以上居住されていて出様にいつたり病院に入院されている方もよくもれることがありますので、家族の方は充分御留意をお願いします。

実りの秋はまじか
産米改善はまず乾燥から

米の乾燥並びに調製不良は、検査等級がおち農家の収入減となるばかりでなく、米質の低下、更に消費者に嫌われる事となり、貯蔵中に於ける変質の原因となり、貯蔵米の欠減の主な原因となります。

特に本年産米は、登熟期間中立秋（八月）前の気候が著しく涼少するので、籾質の成熟までの成育期において損傷を受け、その影響することの大きいことは御承知のことと思いますが、本年産米は、

自衛官（陸上・海上・航空）第四次募集

募集期間は十二月十五日まで
試験日は来年一月中の予定

自衛官二等陸、海、空士の本年度第四次募集を左記により実施しておりますから、志願の方は最寄の連絡所まで志願書を受けて提出願います。

◆募集期間◇
九月一日から十二月十五日まで

◇募集資格◇
(イ) 日本の国籍を有する心身共に健全な男子。
(ロ) 昭和七年三月二日から昭和十四年三月一日までの間に生れた者（昭和三十二年三月一日現在満十八才以上二十五才未満の者）
(ハ) 学校教育法に定める中学校卒業程度の学力を有する者
(ニ) 次の事項に該当するものは受けられません。禁治産、準禁治産者、懲役以上の刑に処せられ、その執行を終るまで又は執行を受けることがなくなるまでの者。
(ホ) 渋令の規定による徴兵免除の処分を受け当該処分の日から二年を経過しない者。

(ヘ) 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他団体を結成し又はこれに加入した者。

◇試験予定期日及び試験場◇
昭和三十二年一月十八日か一月三十一日までの間
宇治市黄檗　自衛隊宇治駐とん地隊内

◇階級及び昇任◇
試験合格によつて二等陸、海、空士に採用され勤務成績の良い者の中から上級に昇進でき三曹と幹部（昇任する場合は昇任試験によつて選ぶことができます。

◎志願書類は役場庶務課にあります。なお試験問題集もありますので勉強について何でもお問合せ下さい。

戸籍のはなし
戸籍係より

婚姻は役場の戸籍係は一体何をしているかというような疑問をもたれることはありませんか、凡そ人間として生れてから、死ぬまで戸籍の厄介になることが一番多いのではないかと思います。

例えば子供ができれば出生届、その子供が成長して就職でもするときは戸籍謄本、又は上級学校に進学するときは戸籍謄本、結婚適令期になれば婚姻届というように何にかにつけて人の身分を公証し登録する戸籍に関らなければならないことと思います。

人の身分関係は社会秩序の基礎をなすもので、国としてもゆるがせにすることのできない極めて重要なことで、諸外国においてもこのような身分の登録に関する制度は国家的な制度としておるのであり、我が国においても明治五年に戸籍制度の基礎が築かれて、その後数次の改正を経て今日のような戸籍法ができ冒頭の身分を登録しも出頭前に乾燥改善を第一義的に併せて包装改善等の運動が施されることになりました。

皆干、むしろ干、運搬乾燥の励行、もみ摺技術の向上、包装重量の統一、計画検査のため平均出荷の励行等を中心として指導普及が行われ農協等も農談会も開かれ、種々のポスター、チラシ等の宣伝も行われていますので、充分御留意の上折角改善されるものでありますから御協力にあたりよき成果を挙げられるよう希望します。

農業改良資金助成の活用には
―農業改良資金助成法の概要―

この法律は農業経営の改善を目的とする自主的に創意的な農業技術の導入のために融林省令で定める融資の七〇％を無利子で三年以内貸付するもので、農業改良または農村の近代化に関する資金の融通などに分れております。

従来補助金の対象となつた事業が殆んど此の中に包含されておりますので、特に留意され今後指導者は融資において充分指導を受けて活用されるようお知らせします。

何その主な対象事業は次の通りです。

一、施設資金の種類
耕作用トラクター取得、電力用農機具取得、製粉機械取得、たい肥舎設置、畜舎設置、温かんがい施設取得、

二、施設資金の種類
保温折衷苗代設置資材、水稲早期栽培資材、耕土改良事業施用資材。